

緊急事態宣言を受けて

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、昨日（4月7日）、東京都など7都府県を対象に緊急事態宣言が発令されました。

昨夜の安倍首相の会見をテレビ等でご覧になられた市民も多かったと思います。

このまま感染拡大が続けば、国内感染者は「1か月後には8万人を超える」という見通しにショックと危機感を持たれたのではないのでしょうか。そして、それは医療現場が崩壊することを意味しています。

この最大の危機を何としても回避するための今回の宣言を、私たちは対象の7都府県だけの話と理解してはいけません。本日現在、高山市と周辺飛騨地域では、自覚ある賢明な市民の皆様のご理解とご協力のもと、幸いにして一人の感染者も発生していません。しかし、ひとたび感染者が出て感染が急拡大すれば、都市部より脆弱な飛騨の医療体制は、たちまち窮地へと陥ります。

国の緊急事態宣言は、高山市にもその警鐘を鳴らしていると私たちは強く認識しなければなりません。

今一度、自分の大切な家族、友達顔を一人ひとり思い浮かべてください。

その大切な人たちを自らの行動で命の危険にさらしてはなりません。

繰り返しになりますが、今、私たち一人ひとりが行動することは二つであります。

- ① 不要不急の外出を控えること
- ② “三密”と言われる密閉空間、密集場所、密接場面を徹底的に避けること

本日、高山市の桜の開花宣言がありました。

桜は来年もまた咲いてくれます。

今は外出を控え、大切な人と来年の花見を心から楽しむためにも、皆様には自覚と責任ある行動を何卒お願いいたします。

令和2年4月8日

高山市長 國島芳明